



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 SBSホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2384 URL <http://www.sbs-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 正彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 遠藤 隆 (TEL) 03 (3829) 2222
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	129,139	1.7	6,243	12.5	6,277	14.7	4,131	23.1
2019年12月期第2四半期	126,944	64.5	5,547	137.3	5,472	145.0	3,356	174.8

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 4,087百万円(11.4%) 2019年12月期第2四半期 3,669百万円(162.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	104.03	—
2019年12月期第2四半期	84.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	192,378	56,941	24.9
2019年12月期	180,047	54,077	25.1

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 47,971百万円 2019年12月期 45,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	265,000	3.7	11,200	10.1	11,000	8.1	6,500	6.9	163.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年12月期 2 Q	39,718,200株	2019年12月期	39,718,200株
---------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年12月期 2 Q	575株	2019年12月期	575株
---------------	------	-----------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年12月期 2 Q	39,717,625株	2019年12月期 2 Q	39,717,672株
---------------	-------------	---------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、2020年8月7日(金)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年6月30日)は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な経済活動の抑制や輸出入の減少が景況感の悪化をもたらし、物流業界も厳しい経営環境に直面することとなりました。他方、外出の自粛や休校措置などを背景に、食品や日用品など生活必需品の物流需要やネット通販の市場は拡大を見せており、当社グループはお客様、取引先ならびに従業員の安全確保を最優先に取り組みながら、こうした需要に応えるべく積極的な対応を図ってまいりました。

業績については、売上の増加に伴って人件費、備車費等が増加した一方で、コスト改善の進展や燃料単価が昨年に比して落ち着いていること、また、物流不動産の流動化で前年を上回る収益を計上したこと等が奏功し、前年同期と比較して増収・増益を確保いたしました。上記の結果、売上高は1,291億39百万円(前年同四半期比1.7%増)、営業利益は62億43百万円(同12.5%増)、経常利益は62億77百万円(同14.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は41億31百万円(同23.1%増)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

(物流事業)

物流事業では、既存顧客との取引拡大に加え、高い物流機能を求める新規顧客の獲得に注力しました。企業間物流や海外事業においては新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けましたが、即日配送事業において市場拡大を続ける電子商取引(EC)需要の取り込みや、生活物流部門や食品流通などの分野における需要の拡大は業績の下支えとなりました。その結果、売上高は1,175億4百万円(前年同四半期比0.4%増)、営業利益は21億53百万円(同7.1%減)となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、開発事業と賃貸事業で構成されております。開発事業では、グループの3PL事業を推進するために、顧客の物流ニーズに合った大型倉庫を土地の取得から建設まで一貫して行います。賃貸事業は、当社グループが保有する収益物件(倉庫、オフィスビル、レジデンス等)から賃貸収益を得る事業です。当社は、将来の投資に向け物流不動産を流動化し資金を回収しておりますが、流動化に伴い計上する収益は不動産事業に含めております。

物流不動産の流動化では、長津田物流センターの40%相当の持ち分を信託受益権の形式で譲渡し、前年同期に同物流センターの30%相当を譲渡したのと比較して売上・利益の拡大につなげております。その結果、売上高は82億55百万円(前年同四半期比25.4%増)、営業利益は39億29百万円(同27.3%増)となりました。

(その他事業)

その他事業の主なものは、人材派遣事業、マーケティング事業、太陽光発電事業及び環境事業です。人材派遣事業は依然厳しい状況にありますが、太陽光発電事業や環境事業が利益を伸ばした結果、売上高は33億80百万円(前年同四半期比0.5%増)、営業利益は1億51百万円(同5.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,923億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ123億30百万円増加しました。長津田物流センター売却に伴うたな卸資産の減少があった一方で、現金・預金の増加並びに横浜金沢物流センターの建設等に伴う建設仮勘定が増加しました。

負債は1,354億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ94億66百万円増加しました。これは主として短期借入金等の増加によるものです。

純資産は569億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億64百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益41億31百万円を計上した一方で、一株当たり30円の配当金総額11億91百万円の支払いが生じたことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界各地で新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、今後も経済活動の抑制が続くことで当社の通期の業績に影響を及ぼす可能性があります。現時点では不確定要素が多く、影響度合いを見通すことは困難です。その一方、こうした環境のなかで市場が拡大している生活必需品やネット通販の需要の取り込みには引き続き積極的に対応していくことから、現段階では2020年2月10日に公表した通期の業績予想を変更せず、その達成に向けた努力をしております。今後の経営環境や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,503	33,755
受取手形及び売掛金	33,128	30,930
たな卸資産	6,330	3,095
その他	6,453	5,657
貸倒引当金	△39	△33
流動資産合計	64,376	73,405
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	55,615	55,191
減価償却累計額及び減損損失累計額	△27,389	△27,436
建物及び構築物（純額）	28,226	27,754
機械装置及び運搬具	26,623	27,369
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,703	△15,106
機械装置及び運搬具（純額）	11,919	12,262
土地	43,093	43,091
リース資産	6,342	5,687
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,784	△3,438
リース資産（純額）	2,558	2,248
建設仮勘定	2,106	5,327
その他	5,966	6,093
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,270	△4,389
その他（純額）	1,696	1,704
有形固定資産合計	89,599	92,388
無形固定資産		
のれん	5,411	5,247
その他	5,024	4,967
無形固定資産合計	10,436	10,214
投資その他の資産		
投資その他の資産	16,005	16,448
貸倒引当金	△369	△78
投資その他の資産合計	15,635	16,369
固定資産合計	115,671	118,972
資産合計	180,047	192,378

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,751	13,008
電子記録債務	4,928	4,336
短期借入金	17,500	32,500
1年内返済予定の長期借入金	9,809	8,760
未払法人税等	1,565	1,696
賞与引当金	1,436	1,545
その他	12,905	12,699
流動負債合計	62,896	74,546
固定負債		
長期借入金	45,181	43,322
退職給付に係る負債	5,955	5,936
その他	11,937	11,631
固定負債合計	63,074	60,890
負債合計	125,970	135,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,920	3,920
資本剰余金	2,651	2,651
利益剰余金	37,956	41,027
自己株式	△0	△0
株主資本合計	44,527	47,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	825	438
為替換算調整勘定	△132	△47
退職給付に係る調整累計額	△93	△18
その他の包括利益累計額合計	600	372
非支配株主持分	8,948	8,969
純資産合計	54,077	56,941
負債純資産合計	180,047	192,378

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	126,944	129,139
売上原価	113,480	114,965
売上総利益	13,463	14,174
販売費及び一般管理費	7,916	7,930
営業利益	5,547	6,243
営業外収益		
受取利息	15	12
受取配当金	50	51
持分法による投資利益	166	290
その他	262	110
営業外収益合計	494	465
営業外費用		
支払利息	340	334
その他	229	96
営業外費用合計	570	431
経常利益	5,472	6,277
特別利益		
固定資産売却益	65	38
投資有価証券売却益	—	364
関係会社株式売却益	20	—
特別利益合計	85	402
特別損失		
固定資産売却損	12	7
固定資産除却損	16	7
投資有価証券評価損	—	10
その他	—	1
特別損失合計	28	27
税金等調整前四半期純利益	5,528	6,653
法人税、住民税及び事業税	2,068	2,451
法人税等調整額	△115	△65
法人税等合計	1,953	2,385
四半期純利益	3,574	4,267
非支配株主に帰属する四半期純利益	218	135
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,356	4,131

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	3,574	4,267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93	△311
為替換算調整勘定	△60	71
退職給付に係る調整額	72	60
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	△1
その他の包括利益合計	94	△180
四半期包括利益	3,669	4,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,400	3,904
非支配株主に係る四半期包括利益	268	183

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	116,997	6,583	3,362	126,944	—	126,944
セグメント間の 内部売上高又は振替高	201	48	195	444	△444	—
計	117,199	6,631	3,558	127,389	△444	126,944
セグメント利益	2,317	3,086	143	5,548	△0	5,547

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去28百万円及び各報告セグメントに配分していない当社に係る損益△29百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	117,504	8,255	3,380	129,139	—	129,139
セグメント間の 内部売上高又は振替高	210	48	182	441	△441	—
計	117,714	8,303	3,563	129,581	△441	129,139
セグメント利益	2,153	3,929	151	6,234	9	6,243

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去25百万円及び各報告セグメントに配分していない当社に係る損益△16百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。